

≪ 11月 1日～15日の国内外外国為替市場動向 ≫

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/11/01 (木)	東京は重要な米経済指標の発表を控えつつも期待感が先行しドル買い優勢。ドルは対円などでじり高。欧米は期待を裏切る米経済指標の悪化などからドル急落。またサブプライム損失の噂なども足かせに。	・9月の米個人所得0.4%、同消費0.3%、10月のISM製造業指数50.9 ・欧米金融機関にさらなるサブプライムがらみの損失発生の噂	・福井日銀総裁「金融政策を急ぐことで日銀が益することはない」 ・武藤日銀副総裁「現在の日本の資産価値、過熱状態にはない」 ・スイス中銀理事「スイスフラン安に引き続き警戒」	115.41 115.93 114.47 114.67	167.00 167.23 164.95 165.42	寄付 安値 高値 終値
07/11/02 (金)	東京は円売りでスタートするもWSJ紙の報道を受けて流れが一変。終わってみれば行って来い。欧米は好数字となった米雇用統計を材料にドル買い優勢。しかし米信用不安からその後反落へ。	・WSJ紙「米メリルがモーゲージ債の損失計上めぐりヘッジファンドと取引」 ・10月の米失業率4.7%、同非農業者雇用数16.6万人、9月の製造業受注0.2%	・仏欧州問題担当閣外相「金利めぐる仏とECBの対立は解消」 ・仏大統領報道官「ユーロ高、フランスの輸出に打撃」 ・ストロスカンIMF専務理事「ドルは過大評価、下落しても驚かず」	114.48 115.44 114.44 114.84	165.15 167.14 165.05 166.56	寄付 安値 高値 終値
07/11/05 (月)	東京はWSJ紙の報道に加え日経平均の大幅安を受けて円買い優勢。財務官発言なども円買い後押し。欧米は株価動向をにらみつつ右往左往。しかし、NYダウが意外に底堅く推移したことでもしっくり。	・WSJ紙「シティGが80-110億ドルの損失計上か」 ・9月の日銀金融政策決定会合要旨 ・10月のISM製造業景気指数55.8	・篠原財務官「ドル安による米経常赤字現象は歓迎すべきこと」 ・日銀総裁「実勢より低すぎる金利は将来への危険性を孕んでいる」 ・クrosナーFRB理事「サブプライム市場はさらに悪化する恐れも」	114.57 114.82 114.02 114.53	166.18 166.45 164.95 165.72	寄付 安値 高値 終値
07/11/06 (火)	東京は前FRB議長発言などから円高スタート。しかし日経平均の堅調推移で流れ一変、円安へ。欧米はGSに絡む噂などから再び円買い優勢。ただ米株価が堅調で円買いも一時的なものに留まった。	・9月の景気先行指数0.0% ・英格付け機関フィッチが中国を格上げ ・GSが110億ドルもの追加損失計上の噂(のちに否定)	・CNBC「モルガンスタンレーが30億ドルの追加損失」 ・前FRB議長「ドルは長期的に下落トレンド」 ・ルクセンブルグ首相「米国は強いドルが国益にかなうとしている」	114.34 114.79 114.26 114.73	165.53 167.08 165.48 167.01	寄付 安値 高値 終値
07/11/07 (水)	東京は中国要人の発言を受けてユーロが急騰。連れる格好で円も対ドルなどで強含みに推移した。欧米はGMに関する報道やサブプライムに関する不安などから円が続伸。米財務省発言は効果限定的。	・豪州が0.25%の金利引き上げ ・GMが繰り延べ税金資産の取り崩しで390億ドルの巨額損失 ・第3四半期の米非農業部門労働生産性4.9%	・全人代常務委副委員長「中国は外準を多様化すべき」 ・米財務省「財務長官は強いドルをコミットしているという立場を堅持」 ・仏大統領「ドル安は貿易戦争を巻き起こすリスク」	114.72 114.79 112.61 112.62	167.06 167.65 164.80 164.83	寄付 安値 高値 終値
07/11/08 (木)	東京は早朝に発表された機械受注が予想を下回ったことを受けて円売り優勢。113円台へ。欧米はFRB議長のハ派発言などもありドルは冴えない。一方金利据え置きにもかかわらずユーロしっくり。	・9月の機械受注▲7.6% ・BOEとECBが金利据え置き	・SECがシリリソにサブプライム関連ポートフォリオ調査に入るとの報道 ・ECB総裁「為替介入に関する言及はしない」 ・FRB議長「景気は第3から第4四半期に減速すると予想」	112.63 113.38 112.24 112.60	164.69 166.16 164.51 165.26	寄付 安値 高値 終値
07/11/09 (金)	東京はサブプライム問題に絡む噂などから円買い優勢。ただクロスを中心とした円売りも根強い。欧米は引き続きサブプライムに関する噂が相次ぎ円が急騰。米経済指標の大幅悪化も円買い要因に。	・9月の米貿易収支▲564.5億ドル、対日▲61.88億ドル、対中▲237.65億ドル ・11月のシカゴ大消費者信頼感指数75.0	・米財務長官「強いドルは米の国益」 ①一部米系銀にサブプライム関連の追加損失計上②一部米銀がFED決算遅延の噂③英系銀に巨額損失発生④米銀大手や政府系住宅金融機関に損失見通し	112.72 112.89 110.50 110.70	165.45 166.00 162.15 162.47	寄付 安値 高値 終値
07/11/12 (月)	東京は中国の利上げや官房長官発言を受けて円買い優勢。一時109円台へ。欧米は官房長官に続く首相の発言を受けて円は続伸。その後警戒感などから戻るも限定的。	・中国が50BPの預金準備率引上げ ・9月の経常黒字2兆8831億円、10月の国内企業物価指数0.3%	・町村官房長官「円高は日本経済にとって良いこと」 ・福田首相「株価の下落、心配することは少しもない」 ・デップラーIMF欧州局長「ユーロ上昇は不快な水準に達していない」	110.58 110.79 109.12 109.41	162.09 162.33 158.83 158.99	寄付 安値 高値 終値
07/11/13 (火)	東京は前日と一変した本邦要人からの円高懸念コメント相次ぎ流れも反転。円独歩安の模様。欧米はGSのコメントに加えギリシャ用心の発言もあり、円は大幅続落。前日下げ分の大半取り戻す。	・第3四半期GDP速報値0.6% ・日銀が金利据え置き決定 ・11月の独ZEW景況感指数▲32.5 ・GSが大規模な資産評価損はないとのコメント発表 ・9月の米住宅販売保留0.2%	・福田首相「円の上昇は急すぎる」 ・額賀財務相「為替の急激な変動は経済発展に望ましくない」 ・ギリシャ経済財務相「急激な変動は歓迎しない」	109.62 110.98 109.58 110.92	159.21 162.11 159.15 161.97	寄付 安値 高値 終値
07/11/14 (水)	東京は日経平均が300円以上上昇したことなどを材料に円売り継続。111円後半へ。欧米は良好な米経済指標を受けて円はさらに続落。ただ米株が冴えず引けにかけて再び円買いも。	・第3四半期の独GDP0.7% ・第3四半期のユーロ圏GDP0.7% ・英中銀四半期インフル報告 ・10月の米小売売上高0.2%、同PPIは0.1%	・人民銀総裁「安定的で適切な金融引き締め策を求める」 ・スハイン中銀総裁「インフル期待が上昇する可能性」 ・加財務相「G20、為替問題で協調的な行動をとる可能性低い」	111.15 111.76 110.76 111.32	162.51 164.31 162.40 163.09	寄付 安値 高値 終値
07/11/15 (木)	東京は一時円安進行するも終わってみれば行って来い。ハークレイズの報道を逆に好感、ドルしっくり。欧米はハークレイズに続く欧米金融機関損失の噂から円買い優勢。UAE中銀総裁なども円買いに拍車。	・英ハークレイズが13億ポンドの評価損計上(それに続きUBS、シティに追加損失の噂も) ・10月の米CPIは0.3%、11月のNY連銀製造業指数27.4、同FF連銀製造業指数8.2	・S&Pがハークレイズ格付けレギュの報道あり ・UAE中銀総裁「ドルハック制を廃止する可能性がある」 ・ウェルズファーゴCEO「現在の住宅市場低迷は90年以降最悪」	111.30 111.69 110.20 110.30	163.07 163.76 161.04 161.18	寄付 安値 高値 終値

*ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで